『 理科総合A 』シラバス

科目名	学 科	学 年	必修/選択	単 位 数
理科総合A	全学科	2 年	必修	3 単位
连件総 口 A	土 子 作	3 年	選択	2 単位

1.科目目標と使用教材

	エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるととも
科目目標	に、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を
	養う。
使用教材	新理科総合A(第一学習社)
	理科総合A学習ノート(第一学習社) 練習プリント

2. 学習計画

	子自引 凹				
学期	学 習 項 目	学 習 目 標			
	・第 章 物質と人間生活				
	第1節 物質の構成	・自然界の多くの物質について、それらを純粋にする方法や、			
1		純粋な物質の基本的な成分とその種類、物質の構成単位とな			
	(1学期中間考査)	る粒子などを学習する。			
学	第2節 物質の変化	・成分の組み換えを伴う物質の変化について、変化を表す式			
		の示し方とその意味、変化とエネルギーの出入り、また、そ			
期	(1学期期末考査)	の身近な例などを学習する。			
	第3節 物質の利用・鉱物や石油を資源とする物質と、生物に由来する物質に				
		いて、それらの製法や特性、用途を学ぶ。また、生物体内で			
	の物質変化の特徴も学習する。				
	・第 章 エネルギー・資源				
	と人間生活				
2	第1節 仕事と力学的エネ	・日常よく用いられる「力」や「仕事」、「エネルギー」の意			
	ルギー	味を科学的に考察し、これらの量の間に成り立つ関係につい			
学	(2学期中間考査)	て学習する。			
	第1節の残り				
期	第2節 エネルギーの変換	・生活や産業に欠かせない熱や電気について、それらの現象			
	(2学期期末考査)	と利用を学ぶ。また、各種のエネルギーが規則性を持って相			
	第2節の残り	互に変換することを学習する。			
	第3節 資源の開発と利用	・人間生活を支える物質とエネルギーの各種資源について、			
3		成因や探査の方法などを学び、資源の消費に伴う環境への影			
	(学年末考査)	響を考える。			
学	・第 章 科学技術の進歩と	・あるテーマを決め、科学技術を成果と問題点の両方から考			
	人間生活	察し、科学技術の進歩と人間生活のかかわりを正しく評価す			
期		る力を養う。			

3. 学習方法

授業には、教科書と学習ノートは絶対に忘れないようにして下さい。また、学習ノートは、時々 提出させてチェックをしますので、ていねいに書くように心がけましょう。

3年生は、進学に必要な生徒が対象ですので、練習問題などで総復習をやっていきます。 意識的に取り組むようにしましょう。

4.評価の観点

	エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象に関心を持ち、意
関心・意欲・態度	欲的にそれらを探求するとともに、自然を総合的にとらえる見方や考え方を身
	に付けている。
	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、実証的、論理的に考えたり、分析
思考・判断	的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断する。
	自然の事物・事象を科学的に探求する方法を身に付け、観察・実験結果及
技 能 ・ 表 現	びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。
	エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解をし、
知識・理解	知識を身に付けている。

5.成績評価

1・2 学期	中間	定期考査 (素 点) 70%	提出物 1 0 %	平 常 授業態度 10%	点 出席状況 1 0 %	%
1 2 3 24	期末	定期考査 (素 点) 70%	提出物 1 0 %	平 常 授業態度 1 0 %	点 出席状況 1 0 %	%
3 学 期	学年末	定期考査 (素 点) 70%	提出物 1 0 %	平 常 授業態度 1 0 %	点 出席状況 1 0 %	%

6.生徒の皆さんへ

テスト前には必ず出題ポイントの提示をしますので欠課の無いようにしておいて下さい。 授業中の姿勢が特に悪い生徒が例年見られます。注意をしていますが、なかなか良くなりません。 少し厳しい態度で臨みたいと思いますので、注意を受けないようにして下さい。 提出物は平常点にもなりますので期限を守り必ず提出するようにして下さい。